



多摩川で発見されたアナジャコ(エビの仲間)の化石

# 鯨

いさな

第13号

昭島市郷土資料室  
 〒196-0012  
 昭島市つつじが丘  
 3丁目3番15号  
 アキシマエンシス  
 国際交流教養文化棟1階  
 TEL:042-543-1523  
 FAX:042-542-8002  
 (昭島市民図書館共通)

## アキシマクジラも食べていた!? 昭島の「ベントス」たち



海の生き物は、魚のように自由に泳ぐことのできる「ネクトン(Nekton)」、クラゲのように水中をただよう「プランクトン(Plankton)」、貝のように海底にすんでいる「ベントス(Benthos)」という三つのグループに分けられます。

クジラの仲間には、口の中に歯がある「ハクジラ」と歯の代わりにタンパク質でできたひげ板がある「ヒゲクジラ」の二つのグループがあり、それぞれ食べているエサが違います。

イルカやシャチも含まれるハクジラの仲間は主にネクトンを食べています。イワシなどの魚を食べる種がほとんどですが、中にはダイオウイカを食べるマッコウクジラなど、魚以外を主に食べる種もいます。

一方、地球最大の生物であるシロナガスクジラに代表されるヒゲクジラの仲間の多くは、オキアミなどのプランクトンを主に食べています。海水ごと水中のプランクトンを口に入れ、ひげ板を使って海水だけをき出し、口の中に残ったプランクトンを飲み込むようにして食べています。

アキシマクジラはコククジラという中型のヒゲクジラの仲間だと考えられています。コククジラは他のヒゲクジラと違い、海底のカニや貝などのベントスを食べるという特徴があり、アキシマクジラもベントスを食べていたと考えられています。

約二百万年前の昭島の地層からは、ウバガイなどのベントスの化石が多く見つかっています。これらの化石は、昭島にはアキシマクジラのエサとなるベントスが豊富に存在していた可能性を示しています。これらのことから、昭島はアキシマクジラにとって重要な餌場だったと考えられています。

郷土資料室では、市内で見つかったベントスの化石を展示しています。また、昭島市デジタルアーカイブズ「あきしま 水と記憶の物語」では、アキシマクジラ化石の3Dデータを公開しています。化石からアキシマクジラがどのように暮らしていたのかを想像してみませんか？

令和六年度 四月～六月のおもな展示・イベント予定

企画展示「アキシマクジラのお弁当〜?〜ベントス化石展」

展示期間…令和六年四月二日(火)～六月三十日(日)  
展示内容…アキシマクジラが食べていたと考えられるカニや貝などの海底にすんでいる生き物たち「ベントス」の化石を展示しています。

昭島市デジタルアーカイブズ「あきしま 水と記憶の物語」に新しいコンテンツが追加されました

昭島の文化的・歴史的な遺産をデジタル化し公開している昭島市デジタルアーカイブズに、「写真でたどる あきしまメモリーズ」が追加されました。明治から令和まで、時代とともに大きく移り変わった昭島の様子を見ることが出来ます。  
下のQRコードまたはURLから、ぜひご利用ください。



スマートフォンでもご利用いただけます



<https://adeac.jp/akishima-arch/top/>

昭島市郷土資料室の展示やイベントの最新情報は、アキシマエンシスのホームページ([https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage\\_list.html](https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html)) またはアキシマエンシス公式X (@akishima\_ensis) へ見ることが出来ます。

ホームページはこちら



Xはこちら



利用案内

○開室時間

昭島市郷土資料室 火曜日～金曜日 午前十時～午後八時  
土・日・祝日 午前十時～午後六時

郷土資料展示室 午前十時～午後五時

(見学を希望される方は郷土資料室のスタッフにお声がけください)

○休室日

月曜日 (休日の場合は翌平日)、年末年始、特別整理期間

○交通アクセス・アクセスマップ

JR青梅線 昭島駅・中神駅より徒歩十分

立川バス (昭22、昭23、昭23-2、昭24、昭26、拝13)

「昭島市民会館」下車徒歩五分

Aバス (北ルート) 「アキシマエンシス」下車すぐ

